

ひらがな学習について

＜美しい字へのステップ＞

すぐその通りに書けなくても、
怒らない！心穏やかに、褒めながら、
時間を決めて練習させましょう。

① 一画ごとに丁度良い力で書く。

幼児期は手で上手に筆圧をコントロールする技能がついていないので、無理に鉛筆で書かせるのはやめましょう。

◎幼稚園では、カラーペンを使っています。

◎鉛筆であれば、4B くらいの柔らかくて太い鉛筆を用意しましょう。〈日本の一年生では、2B～4B の書き方鉛筆を使います。〉

◎間違ったら、別のマスに正しく書き治す／消しゴムできれいに消して書きなおす癖をつけることも大切です。間違った字の上にぐちゃぐちゃと書き直させると、正しく書けた字の美しさを感じ取れませんね。

▲一画ごとの線の太さが違ったり、まっすぐな線が書けないのは筆圧が弱いからです。手を自由に使う練習をしましょう。◎線なぞり練習をはみ出さずに書けるようする。◎はさみで広告の絵を上手に切る。

▲筆圧が強すぎて、次のページまであとが残ったり紙が破れてしまうときは、下敷きを使いましょう。

② マスの中に元気よく・バランスよく字を書く。

◎マスをいっぱい使って大きな字が書ける。

◎はみ出さずに書ける。

△マスに余白がたくさんできるのは、字が小さすぎます。

③ 書き順通り書く。

◎幼稚園では、最初に、一画（赤）、二画（青）、三画（黄色）四画（緑）で練習をします。

一画の線はどこまでかが分かります。小学校でのカタカナ／漢字学習につながるので、書き順をまもって書く癖をつけましょう。

△自分の名前は、正しい書き順で書いていますか。

④ とめ、はね、はらい、曲がりなどを気をつけて書く。

止め、はね、はらいは、日本の文字には欠くことのできない約束です。手をどの向きに動かすかが習得できないと上手に書けません。

▲書き終わりがフラフラしてしまう子は、先ずしっかり止めることを練習しましょう。

⑥ 手本と同じ場所に同じ形を書く。

◎大変高度な技能です。

目で見ると ⇒ 書き順、場所、形（大きさ、止め、はね、はらいなどが分かる） ⇒ 同じ場所に同じ大きさ・形を書く。

一年生でまとめて練習しますが、書こうとする気持ちを今から育てましょう。

はる はる はるがきた

春風が日々暖かさを増し、山川草木の変化が私たちの心と体を和ませてくれる季節になりました。

このような季節の変化を味わうたびに、四季のある国に住んで良かったなあと感じます。特に、日本語は季節を表す言葉と共に生活が営まれているので、その言葉を日常使うことで人間関係を円滑にしているのだと思います。

小学校の教科書では、1～3年まで季節の行事・食べ物・歌・言葉を学習します。例えば、1年生では春の絵を見て話し合い、2年生では草花や虫の名前、春の詩、3年生では、お花見、のどか、うららか、日長、満開、花吹雪などの言葉が出てきます。

このような言葉は、皆さんのご家庭で会話をしながら体験して子どもたちの心と頭にしっかりと記憶されるものです。

さあ、今がチャンス！

ご家族連れ立って春の言葉集めにお出かけください。



二学期の授業時間
9時45分～11時35分
(少し早めに登園しましょう。)

さくら・ひまわり組からのお知らせ

- 9月20日にお子様のひらがなノートとしゅうかん読書ノートをお預かりします。担任が目を通してから返却します。宿題は、お手紙ファイルに入れて9月27日に持たせてください。
- 暖かくなってきますので、脱ぎ着のしやすい洋服で登園しましょう。

今月の予定



9月6日 「敬老の日」制作

教育講演会・座談会

10:00～11:00 座談会

「幼稚園と小学校の連携」

13:10～14:40 教育講演会

「今後の海外子女教育について」

講師の杉浦浩先生は国際理解・海外子女教育や幼小連携教育に造詣が深い先生です。是非ご出席下さい。

9月13日 ひらがな50音並べ大会
・五十音カードを忘れずに！

9月20日 おもちゃ制作

9月27日 お団子作り、終業式
・学習のあゆみと春休みの宿題の配布
＜お団子作りの持ち物＞

エプロン、割れないお皿、フォーク

(名前を書いてビニール袋に入れる。)

お月見の行事をしながらお団子作りを楽しみます。

※もち米、きなこ、みたらし醤油を使います。
アレルギーのある人は担任へお伝え下さい。